

茅ヶ崎市立鶴が台中学校



若き心 集まるところ

3月



令和2年3月 校長 伊藤 盛人

新型コロナウイルスの対応で休校に

3月2日（月）～3月25日（水）まで

2月28日（金）新型コロナウイルス感染症対策本部の安倍総理大臣から「臨時休業」の要請を受け、市教育委員会から3月2日（月）～3月25日（水）までを休校とする措置が取られました。

その結果、今後の学校行事としては3月26日（木）に卒業式を、翌27日（金）に修了式をそれぞれ延期して行う予定でいます。コロナウイルスのまん延防止のため、不要不急の外出を避けるなど、今回の措置の趣旨をよくご理解いただき、生徒が健康かつ安全に過せるよう、ご家庭でも一層のご理解とご協力をいただきたいと思います。また、卒業式については生徒の健康と安全を第一に考え、式の時間の短縮や規模を縮小するため、来賓のご臨席をお断りしました。

今後、状況は全く予断の許さぬところですが、新しい情報がわかり次第、緊急メールもしくは文書で発信します。情報をしっかりと確認していただき、適切な行動がとれるようご協力ください。

3年生はこんな時期だからこそ 卒業準備をしっかりと

つい先日まで、3年生は、3月11日（火）の卒業式本番に向け、準備をしまっていました。これまで、式の練習をはじめ、卒業研修や各種講演会など、さまざまなイベントを順調に終え、卒業式の準備を整えていましたが、上記の通り、3月26日（木）に式が延期になりました。突然の知らせに戸惑うところも多いと思われそうですが、この時期だからこそ、貴重な時間を使って中学校生活をじっくり振り返り、新生活へ向け、心を整えるよう心掛けてください。新しいステップのためにも3年生は、日常生活を大切に噛みしめて過ごしてほしいところです。

1, 2年生は学年末テストが 無事、終了しました

1, 2年生は2月12日（水）、13日（木）、14日（金）の3日間で学年の締めくくりとなる学年末テストを終えました。1, 2年生はこのテストを乗り越え、いよいよ進級することになります。突然の状況の変化に戸惑うことが多いかと思いますが、この1年間の生活を振り返り、現2年生は最上級学年3年生へ、現1年生は中堅学年2年生へと、それぞれ自分たちの立場を自覚して進級してもらいたいです。

本日、学校便りとともに、休校中の課題が配付されます。時間を有効活用し、しっかり取り組んで新学期に備えてください。



「台中生がどう学び、 どう生きるべきか」

卒業生佐川さんの講演会から

2月25日（火）本校卒業生であり、小説家として活躍されている佐川光晴さんを本校体育館にお迎えしました。

大先輩である佐川さんには「台中生に何を学んでほしいか、そしてどう生きてほしいか」を演題に熱く語っていただきました。



佐川さんの講演から佐川さんの作品のモチーフになっている二つのことが語られていました。一つめはご自身が小学生・中学生・高校生時代を過ごした茅ヶ崎での体験です。友と海や山で過ごした貴重な体験が彼の今を支えていることを感じました。二つめは、ふたりのご息子についてです。講演中、たびたび語られたご息子の話から家族を大切にされている思いがよく伝わりました。佐川さんの多くの作品が家族愛をテーマにしていることがうなづけるお話でした。

講演中の佐川さんが言われた「世の中にはつまらない大人ばかりでなく、こんなにもすごい大人がいることを知ってほしい」や「多くの体験をして、なんで嬉しかったのか、なんで悲しかったのか、そのたびに自分に問いながら生きてみよう」など、ほのぼのとした語り口の中にも、台中生に伝えたい「生」へのメッセージが強く込められていました。

講演の直後、生徒からの質問にこたえる佐川さんはとても嬉しそうでした。佐川さんからは「台中生は行儀がよく、素直な姿勢で話を聞いてもらえてよかった」と感想をいただきました。最後に佐川さんからみなさんへ、佐川さんの作品（「おれのおばさん」「牛を屠る」「大きくなる日」）を寄贈していただきました。お知らせします。

出前授業（小学校）に行きました 6年生も目を輝かせていました

2月13日（木）毎年恒例の出前授業のため、鶴が台、香川小学校の両校に本校職員を派遣しました。いつものように小学6年生のみなさんが笑顔で中学校の先生を迎えてくれました。本校の先生方も新一年生への期待を込めて張り切って授業を行っていました。

出前授業の内容は次の通りです

鶴が台小学校

宇條先生 「中学へ向けての第一歩」

大丸先生 「ラタタダンスに挑戦」

香川小学校

山本先生 「わかって！この形」

眞島先生 「中学校社会科への入り口」

甲斐先生 「わかりやすく伝えるためには」

隈部先生 「身近な英語で伝えよう」

校長室より一言

今年の3年生にどんな言葉を送ろうか？ 只今、思案中

延期された卒業式に今年はどうな言葉で3年生を送ろうか。今、頭を悩ませているところです。

今年の3年生は、私が赴任した年に入学してきた生徒たちです。私と3年生はいわゆる、「台中同期生」です。そんな同期生の卒業は実に感慨深いです。特に3年生一人ひとりに、年末から新年まで続けた校長面接で何度も学校スローガン「感動・勇気・感謝・希望」について質問しました。3年生は全員がスローガンを答えることができました。とてもうれしかったです。

さて、卒業式当日はこんなご時勢だからこそ、感じたことをお話し、3年生へのはなむけにしようと考えています。どうぞ、楽しみにしてください。

